



背景の「浮田の杜」と一体となった荒木神社

五條市今井町で



荒木神社 (五條市)



見渡せる高台に鎮座し、近くには旧伊勢街道が通ります。祭神は不詳ですが、平安時代の「延喜式神名帳」に式内社と記された古社です。

正面の標縄が飾り付けられた朱塗りの鳥居をくぐり、石段を登ったと

(住所) 五條市今井町905
(祭神) 不詳
(文化財) 「浮田杜伝説地」として
県史跡に指定

(交通) JR五条駅下車徒歩約20分
(拝観) 境内自由
(駐車場) あり
(電話) なし

ころに本殿があります。一間社(正面の柱間が一つの春日造(切り妻屋根で、棟と直角な面に入り口がある様式)です。本殿の奥に広がる荒木山は古来「浮田の杜」と呼ばれ、その荘厳さは現在も変わらず感じることができます。この杜は万葉集に「かくしてや なほや守らむの歌とする解釈もあり) 大荒木の 浮田の杜の 歌の背景には、この杜が古来より神威厳しく人の立ち入りを禁じていたことがあろうか。大荒木 957(昭和32)年、神社と荒木山一帯が「浮田杜伝説地」として県の史跡に指定されました。

浮田の杜の神聖な樹林や荒木山こそが神社の御神体、祭神だったのかも

(奈良まほろばソムリエの会会員 磯村洋一)

荘厳な「浮田杜伝説地」